

キャナルシティ博多
運河のバックヤードツアー開催[8/24(日)]
 日頃、一般に公開されていないキャナルの裏側にご案内いたします

福岡地所株式会社(本社:福岡市博多区 代表取締役 石井 勲)が運営する大型複合商業施設「キャナルシティ博多」では、8月24日(日)に施設内で開催される福岡市道路下水道局主催のイベント「下水道フェア福岡2014」にあわせて、施設内バックヤードツアーを開催いたします。

キャナルシティの運河バックヤードツアー

節水型都市として、行政・市民ともに節水意識の高い福岡市。
 キャナルシティ博多では、街の中央を流れる運河(キャナル)やに雨水を使用したり、厨房排水を浄化して中水利用する等、環境に配慮した運営を実施しています。
 このバックヤードツアーでは、キャナルシティ内で同日に開催される福岡市下水道局の「下水道フェア」に連携し、運河を中心とした水利用に関する施設をご案内いたします。

【日 時】 8月24日(日)11:30/13:30/15:30
 全3回、各回30分程度
 ※参加受付は当日現地にて各実施回の1時間30分前より。

【参加人数】 各回先着15名様

【会 場】 B1Fムーンウォーク特設テント



【見学箇所】

①運河(キャナル)前	キャナルシティ博多の中央を流れる「運河(キャナル)」の長さや深さ、水量等、基本的な情報をお伝えします。
②噴水機械室	運河の中央サンプラザステージの背景や、スターコート、シーコートに配置された噴水をコンピューター制御でコントロールする仕組みを紹介。
③運河濾過施設	キャナルシティの運河は、憩い安らぐ水辺の空間演出としての親水機能と、非常時の消火用水としての機能をもっています。水資源を保護する観点から、運河の水は100%雨水を利用し、水を常に循環させています。施設各所から集められた雨水とこの循環水は、フィルターや濾過ポンプでごみを取り除き、各処理を経て運河に流れています。
④厨房除外施設	レストランなどの厨房から出る排水は有機性残滓や油脂を多く含んでおり、下水道法で排水中の油脂分等を除去することが義務付けられています。 厨房除外室では、キャナルシティ内の厨房排水を下水道排出基準まで処理しています。
⑤中水プラント	厨房除外室で処理された水をさらに浄化して中水にし、施設内トイレの洗浄水として再利用しています。

報道関係者お問い合わせ
 福岡地所株式会社 社長室 広報 TEL:092-272-2787 FAX:092-272-5553
 〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉1-2-25 <http://www.fukuokajisho.com/>

キャナルシティ博多における節水への取り組み

取り組み	対象	内 容
雨水利用(③)	運河補給水	施設各所から収集した雨水を一カ所に集め、濾過装置→銀イオン滅菌処理を経て運河に補給される仕組み。 当社が運営するマリノアシティ福岡、リバーウオーク北九州、木の葉モール橋本でも、雨水を再生利用し、中水として利用しています。
厨房排水の再利用(④⑤)	中水	飲食店の厨房排水を処理し、トイレの洗浄水として再利用しています。 従来、このようなプラントでは化学薬品を使用した処理が行われていましたが、キャナルシティでは食物連鎖作用を利用したバイオ処理を採用し、処理過程で発生する油脂分等の汚泥の発生を最小限に抑えています。
ラーメンスタジアム 豚骨リサイクル		福岡県リサイクル総合研究事業化センターが推進する豚骨リサイクルの推進協力店として加盟。 豚骨ガラは肥料としてリサイクルされています。
地下水浄化システム	上水	地下水をRO膜(水の分子レベルしか通過できない膜で、不純物や有害物質を除去し、海水や泥水からも飲料水を生成できる膜)でという特殊な膜による水処理システムを使った専用水道施設を稼働し、上水を生産しています。 木の葉モール橋本でも同システムを採用しています。

報道関係者お問い合わせ

福岡地所株式会社 社長室 広報 TEL:092-272-2787 FAX:092-272-5553

〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉1-2-25 <http://www.fukuokajisho.com/>